

令和5年度 社会福祉法人ウィング 事業報告

新型コロナウイルスが第5類に移行した後、少しずつ日常の活動が戻ってきました。基本的な感染防止対策は徹底しつつも、できるだけコロナ禍以前のサービス内容に近づけて実施することができました。年間を通じて感染の報告はあったものの、新型コロナウイルスの影響によるサービスの停止、中断を取ることもなく一年を終えることができました。

一方、各事業所ともに職員の入れ替わりが多々生じ、年間を通じて職員体制のやり繰りに注力せざるを得ない部分もありました。3月末の時点においても一部中止や縮小を取らせていただいているサービスもあります。

利用者やご家族の各サービスに対するニーズは年々多岐にわたってきています。また、障害の重度化や利用者・保護者の高齢化といったことにも直面しています。職員不足という現実の中でも、各活動に工夫をしながら、また利用者・保護者とコミュニケーションを取らせていただきながら、今私たちにできることをひとつひとつ着実に積み重ねました。

意思決定支援の取り組みなど、利用者支援の基本となる取り組みも少しずつ広がってきました。引き続き利用者ひとりひとりの思いにしっかりと向き合っていきます。

【法人本部】

重点目標	○社会福祉法人としての使命の追及 ○適正かつ公正な法人運営 ○積極的な情報公開・情報発信
------	--

1. 理事会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	R5/5/24	理事6名 監事2名	(仮称)グループホームにじ2号棟新築工事契約について
第2回	R5/6/8	理事6名 監事2名	R4年度社会福祉法人ウィング事業報告並びに決算報告について、社会福祉法人ウィング役員選任候補者の選任について、第1回評議員会(定時)の開催について、令和5年度社会福祉法人ウィング資金収支補正予算(第1号)について
第3回	R5/6/30 オンライン開催	理事5名 監事2名	社会福祉法人ウィング理事長の選定について
第4回	R5/9/15	理事6名 監事2名	社会福祉法人ウィングR5年度資金収支補正予算(第2号)について、令和5年度第2回評議員会の開催について

第5回	R5/12/13	理事6名 監事2名	R5年度資金収支補正予算(第3号)について、給与規程の一部改正について、ワーク&ライクのびっこ運営規程の一部改正について、相談支援事業所きらり運営規程の一部改正について、ライフサポートそら指定訪問介護事業運営、規程の一部改正について、居宅介護等事業運営規程の一部改正について、移動支援事業運営規程の一部改正について、生活サポート事業運営規程の一部改正について、グループホームにじ運営規程の一部改正について、にこにこ運営規程の一部改正について、ぬくぬく短期入所事業運営規程の一部改正について、グループホームにじ変更届について(住居追加)、ワーク&ライクのびっこ所長の人事について、令和5年度第3回評議員会の開催について
第6回	R6/3/13	理事5名 監事1名	R5年度資金収支補正予算(第4号)について、R6年度事業計画並びに資金収支予算について、グループホームにじ運営規程の一部改正について、ワーク&ライクのびっこ運営規程の一部改正について、定款の一部変更について、社会福祉法人ウィング役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について、経理規程の一部改正について、R5年度第4回評議員会の開催について

2. 評議委員会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	R5/6/29	4名	R4年度社会福祉法人ウィング事業報告並びに決算報告について、社会福祉法人ウィング理事及び幹事の選任について、R5年度資金収支補正予算(第1号)について
第2回	R5/9/29	書面決議 同意7名	R5年度資金収支補正予算(第2号)について
第3回	R5/12/22	書面決議 同意7名	R5年度資金収支補正予算(第3号)について
第4回	R6/3/25	6名	R5年度資金収支補正予算(第4号)について、R6年度社会福祉法人ウィング事業計画並びに資金収支予算について、定款の一部変更について、社会福祉法人ウィング役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について

3. 監事監査

- 開催日 令和5年5月24日
- 場 所 ワーク&ライクのびっこ食堂
- 内 容 令和4年度事業報告及び会計監査 結果：適正

4. 委員会関係

- 権利擁護委員会：会議12回
 - ・虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を各1回ずつ開催した。また虐待防止と身体拘束適正化に関する研修を企画し、各事業所でおこなった。
 - ・法人としての虐待防止マニュアルを作成した。
- 研修委員会：会議12回
 - ・「意思決定支援」をテーマに法人全体研修を企画し、対面方式とテキスト方式にて年2回実施した。対面では外部講師を招いて実施した。
 - ・新任研修も対面で実施した（年5回）。また、研修委員会だよりの発行（年4回）を行った。
- 福利厚生委員会：会議6回
 - ・職員親睦会として、バーベキューの企画・運営をおこなった。28名参加があり、当日はボッチャなども行い交流を深めた（10月）
 - ・5年ぶりに法人新年会をおこない、その企画・運営をおこなった。当日は37名が参加し、和やかな交流の場となった（1月）
- 感染症対策委員会：会議6回
 - ・新型コロナウイルス・インフルエンザ等の流行状況を踏まえ、感染症の知識・対策の研修及び訓練を各事業所にて年2回実施した
 - ・研修委員会と連携して、新任職員研修の一環として感染症研修をおこなった。
- スマイルフェス実行委員：会議5回
 - ・令和6年5月に、5年ぶりに smile∞smile フェスを開催することとし、それに向けた準備をおこなった。

5. 事務局

- ・理事会・評議員会において、法人の経営状況・運営状況の適宜報告を行い、施設整備等新たな事業展開についても随時報告の上、適切に決議を行った。
- ・役員任期満了に伴い、定款の定めにより適正に役員改選手続き、届出を行った。
- ・グループホームなないろの開所に向け、施設整備や事業開始に伴う諸手続き等を滞りなく進めた。
- ・法人本部の移転に伴い、離れた拠点間での書類決裁や情報共有に活用できるグループウェアを導入した。

- ・法人ホームページの維持管理を行い迅速な情報公開、必要な情報掲載を行った。
- ・5年ぶりに利用者アンケートを実施し、事業に関する課題や利用ニーズの聞き取りを行った。時代の変化と共に、地域の資源や福祉に関する情勢、職員の働き方にも変化があり、今の利用者のリアルな声も参考にしながら、今後の事業運営、展開を柔軟に考えていく。
- ・人材の定着を目的に職員アンケートを実施し、福祉の仕事の魅力や法人の強み、職員の働き方に関するニーズ等、職員の声を集めることができた。課題については今後取り組み、よりやりがいを感じられるような職場環境を整えていく。
- ・働き方の多様性を探りながら、特に非常勤職員の働き方の幅を広げ、ニーズとマッチした雇用契約を結ぶことで、支援で活躍できる人材を増員することができた。正職員の採用については課題も多いが、引き続き、組織のバランスを整えながら、ワーク・イン・ライフの充実を目指していく。
- ・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、対面での会議や研修、職員間の交流イベントや法人新年会の再開等、顔の見えるコミュニケーションが活発になった。引き続き十分な感染対策をしながら、法人内の活動や事業を活性化させていく。
- ・地域との交流やつながりについては、まだまだコロナ禍以前のように戻っていないので、常に利用者を中心に地域との交流を行っていく。

I のびっこ拠点

【多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ】 生活介護・就労継続支援B型

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者本人の主体性を重んじ、日中活動の場として、好きなことや楽しみを大切にしながら、生き生きと「活躍」できるよう支援する。 ○ご家族も安心していただけるよう、コミュニケーションを大切に、信頼関係を築く。 ○地域とのつながりを大切に作業や日中活動を行うことで、共に生きる地域社会づくりに貢献する。
----------	--

1. 職員体制（令和6年3月31日現在）

管理者・サービス管理責任者 1名・嘱託医 1名・看護師 2名
 生活支援員 26名・職業指導員 1名・目標工賃達成指導員 1名
 管理栄養士 1名・調理員 3名・事務員 1名・運転手 2名

計 39名（うち常勤 17名）

2. サービス提供実績

契約者 55名

生活介護：41名（就労B型からの移行1名・退所者1名）

就労B型：14名（生活介護への移行1名）

性別	女性	男性	計
生活介護	16	25	41
就労B	5	9	14
計	21	34	55

市町村	川島	川越	北本	計
生活介護	38	2	1	41
就労B	13	1	0	14
計	51	3	1	55

3838

支援区分	1	2	3	4	5	6	未認定	計
生活介護	0	0	1	4	18	18	0	41
就労B	0	2	4	1	1	0	6	14
計	0	2	5	5	19	18	6	55

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
生活介護	0	5	16	12	7	1	41
就労B	0	4	3	4	1	2	14
計	0	9	19	16	8	3	55

利用実績

R5年度 通所実績数																
生活介護	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
	定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
契約者数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40.0	40.0	100%
通所日	20	20	22	20	21	20	21	22	20	19	19	20	20	244	242	101%
利用者延数	697	700	763	690	728	704	746	740	698	653	645	692	692	8,456	8,286	102%
平均利用者/日	34.9	35.0	34.7	34.5	34.7	35.2	35.5	33.6	34.9	34.4	33.9	34.6	34.7	34.2	101%	
利用率(定員比)	116%	117%	116%	115%	116%	117%	118%	112%	116%	115%	113%	115%	116%	114%	101%	
就労継続支援B型	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
	定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
契約者数	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17.8	17.75	100%
通所日	24	26	25	24	23	24	23	25	23	22	23	25	25	287	287	100%
利用者延数	246	241	237	221	215	206	191	209	218	207	196	212	212	2,599	3,052	85%
平均利用者/日	10.3	9.3	9.5	9.2	9.3	8.6	8.3	8.4	9.5	9.4	8.5	8.5	9.1	10.6	85%	
利用率(定員比)	103%	93%	95%	92%	93%	86%	83%	84%	95%	94%	85%	85%	91%	106%	85%	

R5年度 ランチサービス実績数																
ランチサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
利用者食数	809	828	957	851	868	849	852	852	848	795	732	820	10,061	9,722	103%	
	67%	67%	67%	67%	69%	68%	67%	67%	67%	68%	68%	70%	68%	66%	—	
職員食数	400	393	442	415	392	403	415	424	411	379	342	348	4,764	4,952	96%	
	33%	32%	31%	33%	31%	32%	33%	33%	33%	32%	32%	30%	32%	34%	—	
ボランティア他	1	7	25	3	2	5	4	5	3	1	3	3	62	58	107%	
	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	—	
総計	1,210	1,228	1,424	1,269	1,262	1,257	1,271	1,281	1,262	1,175	1,077	1,171	14,887	14,732	101%	

R5年度 送迎サービス実績数(回数)																
送迎サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
就労B型	299	262	259	265	236	224	190	212	226	210	199	202	2,784	2,787	100%	
生活介護	1003	1032	1112	991	1008	1047	1014	1074	983	932	962	1007	12,165	11,657	104%	
合計	1302	1294	1371	1256	1244	1271	1204	1286	1209	1142	1161	1209	14,949	14,444	103%	

工賃

○就労支援 B 型 年間支給総額 5,364,612 円（前年度 3,669,958 円）

平均月額 34,611 円（前年度 21,975 円）

時給換算額 387 円（前年 279 円）

○生活介護 年間支給総額 3,275,850 円（前年度 2,968,910 円）

平均月額 7,231 円（前年度 6,904 円）

授産売上	カフェ	パレット	ジャquette	エラン	マハロ	合計
令和 4 年度	13,745,360	2,083,460	3,052,759	222,664	2,574,527	21,678,770
令和 5 年度	13,439,793	916,740	3,010,142	217,075	3,214,625	20,798,375
前年度比	97.7%	44.0%	98.6%	97.4%	124.8%	95.9%

実施状況

- ・新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い、感染予防に留意しつつも授産活動、各行事ともに、徐々にコロナ禍前までの活動に戻していくことができた。感染拡大期には、罹患する利用者、職員も出たが休所対応を取ることはなかった。
- ・年度途中で管理者およびサービス管理責任者の交代があった。また一年を通じて職員の入替わりもあり、特に年度前半において職員体制の安定が大きな課題であった。そのため就労継続支援 B 型のプリント事業を中止とし、利用者はご本人の希望や適性に応じて、カフェ班や生活介護へ移行した。

《生活介護》

○マハロ班

- ・利用者の班異動や新規入所により、班の雰囲気が大きく変化した。また、利用者同士の交流が持てるよう特性に配慮しながら支援することで班内の活気が増した。
- ・また年間を通して職員体制も変わり、職制や役割について再確認していく一年となった。その際には、利用者の不安感にも最大限配慮して引継ぎをおこなった。
- ・作業については、個々の長所に合わせた作業を提供し、自信につながるように支援した。利用者同士で協力して作業に取り組めるように配慮した。
- ・コロナ禍が過ぎて、徐々に授産販売の再開された場所もあり、新規の販売先や新しい販売方法を試みることができた。また置き菓子の販売も開始し、地域の方との交流の発展にもつながった。ふるさと納税の返礼品ギフトの注文も増えた。
- ・商品について、販売方法発展のため職員が外部講習に参加しスキルを高めた。また材料費高騰に伴い値上げをおこなった。賞味期限シールに栄養成分表示の追記も行った。

○ジャカッセ班

- ・利用者が主体的・自主的に取り組んでいる作業は継続して支援した。また、個々の利用者の特性や安全面に配慮した作業環境を作り、利用者が意欲的に作業に取り組めるよう工夫をおこなった。
- ・「作業」と「余暇」の両立を図り、体育館での活動や近隣の公園での散歩などを取り入れ、楽しみながら体を動かす機会を設けた。
- ・添乗者を各作業車両に配置することで作業中の利用者の見守り・把握の強化に努めた。
- ・地域の回収作業は引き続き多方面よりご協力を頂いている。班の携帯電話を回収の受付窓口としたことで、地域の方との回収調整がよりスムーズに行えるようになった。
- ・職員体制が充実したこともあり、昼休みや帰りの会前などの時間を使って、利用者とのコミュニケーションを取る機会を増やすことができた。
- ・職員同士協力し合い、声を掛け合いながら支援を行うことを徹底した。その過程で職員共有ノートを作成し、特に非常勤職員にも連絡事項を伝えやすくした。

○エラン班

- ・利用者が主体的に作業に参加できるように、新たな工程を追加したり、別の作業を提案することにより、作業内容の幅を広げることができた。また、納品や買い物など外に出る活動についても、できるだけ多くの利用者が参加できるように心がけた。
- ・利用者主体の中でも最終的な確認を確実にこなうことで、ミスのない製品作りを心掛けた。商品については、コースターの作成やバレンタイン商品のタグなど、他班と連携した取り組みも継続した。
- ・理学療法の指導を受けた利用者については、その指導を下に生活リハビリを行った。公園清掃には、ほぼ全員の利用者が参加して身体を動かす機会を作った。
- ・班内利用者の連携はもとより、他班利用者の支援についても、各職員と連携しながら必要な支援をおこなった。

《就労継続支援B型》

○カフェ班

- ・コロナが5類に移行したことで、年間を通して店内での営業を行うことができた。一方で、テイクアウトについても引き続き継続して力を注いだ。
- ・販売状況とお客様の声や反応を日々確認し、そのニーズに応えるために常に新たなメニューを考案した。その際には、原材料の高騰により使用できる食材に限りがある中でも「美味しさ」だけではなく、見た目のインパクトも重視した。
- ・テイクアウト弁当においてもご飯・麺・パン・中華と様々な種類の弁当を販売し、曜日ごとの販売ルートを確保し、日々の安定した売り上げの一因となった。
- ・利用者支援において、作業内容によっては、ホールとキッチンの利用者が入れ替わって作業をすることも多く、それぞれが得意な作業とやるべき作業を行った。その過程で新たな

「得意」を見つけることにもつながった。

- ・年度途中で数名の職員の入れ替わりがあったが、各ポジションの業務を必要に応じて、他ポジションの職員と協力して進めることで、作業の効率化を図った。
- ・年度途中でパレット班の活動が休止となり、段階的に利用者がカフェ班へと異動した。それに伴い、就労Bの新たな作業としてにこにこの清掃作業を開始した。

《そのほか》

○ランチサービス

- ・年度初めに「昼食に関するアンケート」を実施し、利用者個々の希望や嗜好・アレルギーについての情報収集を行った。
- ・毎月の献立（季節のメニュー・誕生日メニュー）は、ランチサービス会議にて検討・決定した。また個々の利用者の食事内容の変更は適宜対応した。
- ・6月に川島そば打ち倶楽部の皆さまによる手打ちそばのイベントを久しぶりに実施することができた。10月の青空まんぷく会は、ポスター掲示、お品書き等で雰囲気を出した。他にも行事においては担当職員と相談し、行事に合わせたメニューを取り入れた。
- ・物価上昇の影響でほとんどの食材が値上がりしており、献立内容の工夫をおこなった。

○年間行事

新型コロナの5類移行にともない、以前のような活動に少しずつ戻すことができた。

入所式（4月）、のびっこ春まつり（5月）、手をつなぐスポーツ教室（従来の水泳教室から代わるものとして実施）・夕涼み会（8月/四年ぶりの実施となった）、日帰り外出（10月）・青空まんぷく会（10月）・ゆるレク（11月/従来の農工商祭は中止）、クリスマス会（12月）、成人を祝う会（1月）

○健康・衛生管理

利用者健康診断（年2回）、職員健康診断、体重測定（月1回）、保健便り（年4回）、服薬管理、感染症に関する講習会、救命救急講習会、保健衛生関係備品の整備、他

【看護師】 消毒清掃・検温チェック等感染症対策の徹底、服薬管理、嘱託医との連携、利用者保護者の健康相談、緊急時の通院同行、など

○保護者会

4月・7月・12月・3月に実施した。7月は保護者の方にご協力を頂いて職員と共に敷地内の除草作業をおこなった。

○実習生等の受入

通常どおりの日程で受け入れた。感染防止対策を講じて受け入れを行った。

特別支援学校生徒：2校2名 介護等体験実習：2校2名 専門・短大等：1校2名

○ボランティア

イベント時の準備、デザインなどでボランティアの受け入れをおこなっている。また、夕涼み会などの行事の際の受け入れをおこない、協力していただいた。

3. サービス向上の取組

職員研修

○外部研修

てんかん基礎講座、安全運転管理者講習、障がい者の働く場パワーアップフォーラム、保健所主催研修、他

○内部研修

緊急時の対応、安全運転、食中毒と熱中症対策、権利擁護（職員倫理綱領等・虐待防止・身体拘束）、感染症対策（発熱時対応・手指衛生・個人防護具装着法）、発達障害の理解（外部講師）、救命講習（外部講師）

法人全体研修（年2回/意思決定支援）

○スタッフ会議（毎月）・運営会議（毎月）

危機管理対策

各報告については朝会にて速やかに共有するとともに、班会議・班連携会議等で共有・対応の検討を行い、事故の未然防止や支援向上に努めた。

○ヒヤリはっと 33件（前年度42件）

内容：支援中（転倒・利用者間接触・異食・服薬等）24件

送迎中（送迎・車両等）9件

○事故報告 19件（前年度30件）

内容：利用者による他害（6）・利用者の怪我・転倒（5）車両の破損・故障（4）・服薬忘れ（2）・職員の怪我（1）・貴重品の紛失（1）

○苦情報告 1件（前年度3件）

内容：利用者の事故について（1）

※事故については、法人として「事故調査委員会」を立ち上げて、事故の経緯を検証すると共に再発防止策を策定した。

○防災関係

・消防避難訓練（年3回）、防災総合訓練、洪水時避難確保計画に伴う訓練

・定期点検：自主点検（毎日）、業者設備点検（年2回）

○保健衛生管理

利用者健康診断（年2回）、職員健康診断、利用者体重測定（月1回）、保健便り（年4回）、服薬管理、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、救命救急講習会、保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

【看護師】消毒清掃・検温チェック等感染症対策の徹底、服薬管理、嘱託医との連携、利用者保護者の健康相談、緊急時の通院同行、看護師会議（月1回）など

○車両運行管理

・日常点検、法令点検、車検の実施、車両内外清掃、配車 他

II かわじま地域生活支援センター拠点

【かわじま町障がい児・者相談支援事業所きらり】

特定相談支援・障害児相談支援・生計困難者相談支援

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○意思決定支援を学び、支援につなげていく。 ○現在の相談支援の継続（本人・家族の希望に沿った総合的な計画） ○自立生活に向けた「きらり Smile サロン」の展開 ○川島町の地域力アップ・連携の強化・オンラインの活用と展開
----------	--

1. 職員体制（令和6年3月31日現在）

管理者1名（兼務）・相談支援専門員2名 計 3名

2. サービス提供実績

契約者

・利用契約……143件（新規11件・終了9件）

性別	児童	成人	計
女	11	44	55
男	20	68	88
計	31	112	143

主な障害	児童	成人	計
知的	31	77	108
身体	0	9	9
精神	0	25	25
難病	0	1	1
計	31	112	143

援護市町村	児童	成人	計
川島町	30	101	131
川越市	1	6	7
北本市	0	2	2
桶川市	0	1	1
さいたま市	0	1	1
越谷市	0	1	1
計	31	112	143

利用実績

・認定調査……25件 ・計画作成……延126件 ・モニタリング……延417件

月別実績		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年	前年比
児童	契約数	28	28	29	29	28	28	28	30	30	31	31	31	31	29	106
	計画	6	4	4	2	2	0	5	5	3	2	3	1	37	30	123
	モニタリング	6	2	5	6	4	2	3	2	3	5	3	4	45	44	102
成人	契約数	117	117	117	116	116	116	115	116	116	114	113	112	112	115	97
	計画	9	7	7	8	3	6	9	3	13	6	8	10	89	91	97
	モニタリング	22	37	42	26	35	36	20	33	40	19	29	33	372	345	107
全体	契約数	145	145	146	145	144	144	143	146	146	145	144	143	143	144	99
	計画	15	11	11	10	5	6	14	8	16	8	11	11	126	121	104
	モニタリング	28	39	47	32	39	38	23	35	43	24	32	37	417	389	107
認定調査		0	8	1	0	4	4	3	2	1	1	0	1	25	28	89

きらり smile サロン

実施日	内容	参加数
5月	① 献立を話し合って決める	5名
6月	② 献立に必要な食材や調理方法を調べる	5名
7月	③ 実際に献立を調理しよう	5名
8月	① 献立を話し合って決める	5名
9月	② 献立に必要な食材や調理方法を調べる	5名
10月	③ 実際に献立を調理しよう	5名
12月	① 献立を話し合って決める	5名
1月	② 献立に必要な食材や調理方法を調べる	5名
3月	③ 実際に献立を調理しよう。今年の振り返り。	5名

実施状況

- ・年間を通じて意思決定支援を意識した計画、ケース会議、支援チーム作りを行った。その過程において、本人の想いを大切に、体験や選択の機会を提供できるように支援した。
- ・急遽自宅から離れて暮らす調整を行った利用者が5件あった。ご本人の希望を確認し、見学、体験を通じ移行した。本人らしい生活になるよう関係機関と連携し支援した。
- ・家族に怪我をさせた方のケースでは警察、福祉課、社協、保健センター、医療と連携し対応した。一方で、経済的虐待ケースが1件あり、川島町へ通報するとともに、本人に

寄り添い支援にあたった。

- ・新たなサービス提供開始の情報があつた際には、希望者にアナウンスした。
- ・東松山市で新規の障害児相談支援事業所が立ち上がり、準備の過程で相談員の実習希望相談があつた。3日間受け入れ、実習を行った。今後の交流にもつながつた。
- ・主任相談支援専門員として、相談支援従事者初任者研修のファシリテーターの協力をした。また、比企地域で、障害児相談支援ネットが立ち上がり、主任相談支援員として協力要請があり企画や研修会に参加した。児童支援に対する知識や、事業所同士のつながりの機会にもなり、今後も積極的に参加していく。
- ・県のサービス管理責任者初任者研修にファシリテーターとして1名を数回派遣した。
- ・児童の相談ケースで、就学時期に関係機関と移行支援会議を行えるよう東松山市のシステムを参考にさせて頂き実施することができた。次年度以降定着化させていく。
- ・きらり事例検討会は、「本人の意思を大切に支援する」というテーマを中心にスーパービジョンを活用しアイデアを出し合つた。新たな気づきがあつたと好評だつた。
- ・今年度のきらり smile サロンは、1番好評である調理を通年行つた。献立を考える月、調理法を調べる月、実際に調理する月と3カ月で完結するプログラムとし、年3回繰り返した。その際には自身で考え、行えるようにサポートした。

3. サービス向上の取組

職員研修等

○外部研修

精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修、支援者のための成年後見活用講座

○内部研修～センター内合同研修として実施

権利擁護・虐待防止、感染症研修、個人情報取り扱い、意思決定支援研修
法人全体研修（年2回/意思決定支援）

○会議

職員会議（毎月）、運営会議（毎月）

- ・川島町保健センター情報交換会（毎月参加）、川島町内関係機関事例検討会（きらり主催・3月実施）、基幹相談支援主催研修（年2回参加）

危機管理対策等

○ヒヤリはつと 0件（前年度0件）

○事故報告 1件（前年度0件）内容：公用車の接触事故

○苦情報告 0件（前年度2件）

○保健衛生管理

職員健康診断、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、救命救急講習会、保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

【ライフサポートそら】

居宅介護等・移動支援・訪問介護等・生活サポート・るんるんクラブ

重点 目標	○意思決定支援を学び、支援につなげていく ○サービス（支援）の質の向上 ○ニーズに応えられる体制づくり ○地域とのつながりを大切にする
----------	--

1. 職員体制（令和6年3月31日現在）

所長1名（きりり所長兼務）・管理者1名（サービス提供責任者兼務）・サービス提供責任者1名・訪問介護員（ヘルパー）5名・登録型ヘルパー18名

計26名（うち常勤5名）

2. サービス提供実績

契約者及び利用実績

事業別	契約者（R5.4.1～R6.3.31）	利用実績／年間
障害（居宅介護等）	49名	7,489.5時間
介護（訪問・予防）	6名	578時間
移動支援	61名	2,199.5時間
生活サポート	89名	2,587.5時間
るんるん	17名	延参加337名

4. 利用実績

行動援護・重度訪問介護・居宅介護・同行援護／月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
行動援護	契約者	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26.9	26.9	100%
	利用時間	383.5	448.5	430.5	482.5	418.5	399.0	358.5	378.0	403.0	396.0	410.5	4,868.5	4,843.5	101%
重度訪問介護	契約者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%
	利用時間	16.5	12.0	12.0	16.5	12.0	16.5	12.0	12.0	16.5	12.0	12.0	166.5	199.0	84%
居宅介護	契約者	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	17	17.8	17.8	100%
	利用時間	191.0	190.5	192.0	182.5	184.5	162.0	173.5	184.0	203.5	191.0	187.5	173.5	2,215.5	2,154.5
同行援護	契約者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	3.0	100%
	利用時間	22.0	20.5	23.0	21.5	20.0	17.0	18.5	21.0	20.5	18.5	22.5	14.0	239.0	234.0
合計	契約者	49	49	49	49	49	49	48	49	49	49	47	48.8	48.7	100%
	利用時間	613.0	671.5	657.5	703.0	635.0	594.5	562.5	595.0	643.5	617.5	582.0	614.5	7,489.5	7,431.0

居宅介護内訳	身体介護	191.0	190.5	192.0	182.5	184.5	162.0	173.5	176.0	195.0	184.0	179.5	167.0	2,177.5		
	家事援助	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.5	7.0	8.0	6.5	38.0		
	通院等介助	11.5	9.0	11.5	10.0	11.0	11.5	6.0	11.5	10.0	18.5	9.5	15.0	135.0		

訪問介護・予防訪問介護／月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
訪問介護	契約者	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	4.9	97%
	利用時間	24.00	30.00	47.00	42.00	42.50	41.00	43.50	34.50	41.50	29.00	24.50	29.50	429.00	287.0
予防訪問介護	契約者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%
	利用時間	12.00	14.00	12.00	10.00	14.00	12.00	13.00	14.00	12.00	11.00	13.00	12.00	149.00	149.00
合計	契約者	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5.8	5.9	98%
	利用時間	36.00	44.00	59.00	52.00	56.50	53.00	56.50	48.50	53.50	40.00	37.50	41.50	578.00	436.00

移動支援・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
あり介護	契約者	34	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33	33.8	33.7	100%
	利用時間	126.5	115.0	96.0	110.5	109.0	90.0	95.5	100.5	98.5	89.0	82.5	83.5	1,196.5	1,232.0
なし介護	契約者	26	26	26	26	27	27	25	25	25	25	25	25.7	25.6	100%
	利用時間	102.0	75.0	109.0	104.0	90.5	92.0	72.0	58.5	75.0	76.5	80.0	68.5	1,003.0	1,038.5
合計	契約者	60	60	60	60	61	61	59	59	58	58	58	59.4	59.4	100%
	利用時間	228.5	190.0	205.0	214.5	199.5	182.0	167.5	159.0	173.5	165.5	162.5	152.0	2,199.5	2,270.5

生活サポート・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用実績	契約者	88	88	88	88	89	89	89	89	88	88	87	88.3	88.3	100%
	利用者実人数	59	53	57	57	58	53	50	56	51	51	49	53.8	53.4	101%
	利用時間	223.0	226.5	241.5	238.0	228.0	216.0	197.0	208.0	195.5	192.5	197.0	224.5	2,587.5	2,566.0

るんるんクラブ

○登録者数 17名（川島町内 17名）

○発表

フラダンス…川島町生涯学習フェスティバル（11月）

フラワーアレンジ（キッズ含む）…川島町中央文化展展示（11月）

※ウイングフェス・のびこ夕涼み会・平成の森老人保健施設の発表は中止とした。

プログラム	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	回
ダンス	7	7	7		6								27	4
ヨガ		8	9							7			24	3
ブルガリアンダンス											6	7	13	2
卓球										9	9	9	27	3
調理					9			9				9	27	3
音楽						10							10	1
書道							9						9	1
工作											7		7	1
年賀状									9				9	1
鑑賞会									6				6	1
紙芝居				10									10	1
フラダンス				7	8	7	7	6					35	5
野菜作り	8			9									17	2
カルタづくり		9	9							8			26	3
ウォーキング						10							10	1
ボッチャ							10	10	10				30	3
キックベース	8												8	1
キッズ	4	3	4	4	5	4	4	-	5	2	3	4	42	11
合計	27	27	29	30	28	31	30	25	30	26	25	29	337	47

グループ外出

実施日	内容	行先	参加数
4月（8日・9日）	お花見	森林公園	15名
5月（6日・7日）	ピクニックに行こう	丸山公園と榎本牧場	12名
6月（3日・4日）	ハイキングに行こう	長瀬	15名
7月（1日・2日・9）	川の博物館に行こう	川の博物館	16名
8月（5日・6日）	科学館に行こう	環境科学国際センター	15名
9月（2日・3日・10日）	防災について学ぼう	防災センター	16名
10月（7日・8日）	ショッピングに行こう	ふかや花園アウトレットモール	13名
11月（4日・5日）	動物に会いに行こう	丸山公園と榎本牧場	14名
12月（2日・3日）	バーベキュー	城山公園	15名
1月（6日・7日）	初詣に行こう	東松山・箭弓神社	16名
2月（3日・4日）	新名所に行こう	西武秩父	14名
3月（2日・3日）	動物園に行こう	こども自然動物自然公園	10名
年間総数：実施回数／26回 延参加人数／171名 ヘルパーを確保できず断った数／16名			

実施状況

- ・今年度も365日毎日開所し、利用者、ご家族の生活に寄り添い支援した。
- ・事前の予約以外にも、交通事故や、転倒、火傷等の緊急通院、コロナ陽性で他グループホームが受け入れ拒否し通所できない方の日中対応などの緊急対応を行った。
- ・急遽自宅を出て自立した生活を送る形になったケースが5名いた。本人が納得し、それぞれの環境になるよう相談支援をはじめ、各関係機関と連携し支援にあたった。
- ・必要に応じ関係機関（行政・医療・訪看・ケアマネ・相談員等）と連携し支援を行った。
- ・職員体制として、年度途中で女性正職員の退職をはじめ、女性非常勤職員、登録ヘルパーの退職が続いた。
- ・一方で、利用希望は増えており、派遣調整が難しいため、例えば①生活に関わる支援は確実におこないつつ、週末の余暇外出等ではお断りをした、②平日の居宅介護派遣を他の事業所に移行した、③川島町外にお住いの利用者は、地域にある事業所を相談員と一緒に探し新しい事業所が見つかった時点で引き継ぎ、契約を終了した、④川島町と相談し、行動援護2名体制の利用者につき、状況に応じ1名対応できる過ごし方への変更の許可を経て実施した、などの対応を取った。
- ・余暇外出の派遣回数が減ったことで、利用者が情緒不安定にならないよう、1回の派遣内容の充実を重視し対応した。
- ・グループ外出は人気があり、毎月多数の希望があるため、数名は順番でお断りせざるを得なかった。

3. サービス向上のための取組

職員研修・会議

- 内部研修～一部はセンター合同研修として実施
権利擁護・虐待防止、感染症研修、個人情報取り扱い、介護保険の仕組み、意思決定支援研修、安全運転
法人全体研修（年2回/意思決定支援）
- 会議
職員会議（毎月）、運営会議（毎月）、

危機管理対策

- ヒヤリはっと 7件（前年度2件）
内容：転倒（2）・利用者の暴力（1）・車椅子（1）・交通事故（1）・行方不明（1）・他
- 事故報告 18件（前年度17件）
内容：派遣忘れ（4）派遣場所間違い（3）・車両事故（3）・転倒（3）・派遣遅刻（2）
誤薬（2）・紛失（1）
- 苦情報告 2件（前年度5件）
内容：ヘルパーの態度（1）・求人チラシのポスティング（2）
- 保健衛生管理
職員健康診断、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、救命救急講習会、保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他
- 車両運行管理
日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車 他
- その他 そら通信・るんるん通信の発行（各12回/年）

III にじ拠点

【グループホームにじ】 共同生活援助

重点 目標	<ul style="list-style-type: none">○スタッフの人権意識を一層高める。○ニーズ・課題に対しては、事業所の内外を問わず、チームで解決する○利用者の体調管理・健康管理を重点的におこなう。○利用者同士、利用者主体、利用者意向の尊重の雰囲気がつくられる
----------	---

1. 【職員体制】（令和6年3月31日現在）

管理者兼サービス管理責任者1名・看護師1名（のびっこ兼務）・世話人4名
生活支援員（夜間・休日）7名 計14名（うちパート11名）

2. サービス提供実績

契約者

- ・定員 6 名 ・年間利用実人数：6 名
- ・出身地：川島町 6 名
- ・利用者支援区分

支援区分	1	2	3	4	5	6	計
人数	0	0	0	0	5	1	6

- ・年齢

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
人数	0	0	1	3	1	1	6

利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
契約者数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	-
延利用	180	185	180	186	185	180	186	180	186	184	174	186	2,192
平均/日	6	5.9	6	6	5.9	6	6	6	6	5.9	6	6	5.9
利用率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
定員比	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

実施状況

- ・一年を通じて入居者の入れ替わりはなく、1 名が年に数回外泊を伴う帰省をされた以外は、皆さま毎日利用していただいた。
- ・ホームの中でコロナウィルスの発生はなかった。数回ほど利用者が体調不良で通所施設をお休みしたため、ホームにて必要な支援、通院付き添い等をおこなった。通所施設でのコロナウィルスに伴う休所もなく、平日の日中は入居者皆さま通所している。
- ・それぞれの利用者ごとに生活の流れが定着しており、ご本人のペースを尊重して支援にあたっている。
- ・権利擁護の取組については、研修と共に、毎日の支援の中で必要な点をお伝えし共有している。その際、利用者ひとりひとりの生活を尊重していく点を大切にしている。
- ・支援や利用者の様子については、職員が個々に単独で判断するのではなく、職員間で共有するように努めた。健康管理については、週 1 回の看護師訪問などの際に様子を確認し、内容を連携して支援にあたっている。
- ・通院については、定期・不定期を含めて看護師をはじめ、ご家族や相談機関、通所事業所、ヘルパー事業所等との連携に努めた。事前の通院報告（引き継ぎ書）については、職員間で情報を共有していく観点からも、看護師も確認する流れに改めた。

- ・月1回「メンバー会議」を実施し、利用者同士で司会や進行などを決めている。また、その中で職員と一緒にこなう個別掃除日を決めて、居室内清掃を実施している。
- ・地域活動については、利用者の参加は行わなかったが、回覧板を利用者と届けたりして交流をはかった。職員が地域の防犯パトロールに参加した。
- ・研修は非常勤職員が多い構成でもあるため、研修方法の工夫が必要である。

3. サービス向上のための取組

職員研修

○外部研修 埼玉県障害者グループホーム職員研修

○内部研修

権利擁護・虐待防止、感染症研修、個人情報取り扱い、意思決定支援研修

法人全体研修（年2回/意思決定支援）

○スタッフ会議（毎月）・運営会議（毎月）

危機管理対策

○ヒヤリはっと 22件（前年度20件）

むせこみ（7）・利用者の他害（5）・服薬忘れ（3）・ものを投げる（2）・異物を口にする（3）・他

○事故報告 6件（前年度5件）薬の飲み忘れ（3）・誤薬（2）・小口現金紛失（1）

○苦情報告 0件（前年度0件）

○防災関係

・消防避難訓練（年2回）、洪水時避難確保計画に伴う訓練

・定期点検：自主点検（毎日）、業者設備点検（年2回）

○保健衛生管理

職員健康診断、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）

保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

○車両運行管理

日常点検、法令点検、車検の実施、車両内外清掃 他

IV にこにこぬくぬく拠点

【にこにこ】 児童発達支援・放課後等デイサービス

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども同士が心地よい時間を共有できる。 ○個々の利用者の意思決定を後押しし、やりたいことを実現する。 ○支援の根拠をスタッフ間で共有し、つながりのある支援を行う。 ○人権、権利擁護に関するスタッフへの啓発、取り組みを繰り返しおこなう。 ○安心して利用していただけるように様々な場面を想定して堅実に取り組み、状況に合わせて工夫した活動をおこなう。
----------	---

1. 職員体制 (令和6年3月31日現在)

管理者1名・児童発達支援管理責任者1名(管理者兼務)

保育士4名・児童指導員3名・指導員(福祉サービス経験者含む)6名・事務員1名・
計14名(うち常勤3名)

2. サービス提供実績

契約者 28件(R5年4月1日~R6年3月31日) / 定員10名

放課後等デイサービス・・・ 27名

児童発達支援・・・・・・・・ 1名

性別	女性	男性	計
放課後等デイサービス	14	13	27
児童発達支援	0	1	1
計	14	14	28

市町村	川島	川越	吉見	東松山	鶴ヶ島	桶川	北本	計
放課後等デイ	8	13	3	1	1	0	1	27
児童発達支援	1	0	0	0	0	0	0	1
計	9	13	3	1	1	0	1	28

学校・学年別	児童発達	放課後等デイ対象				計
	未就学	小学部 1~3年	小学部 4~6年	中学部	高等部	
川越特別支援学校	/	6	2	3	2	13
ひばりが丘特別支援学校	/	1	0	4	3	8
上記以外	1	1	4	0	1	7
計	1	8	6	7	6	28

利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
開所日	25	27	26	26	24	26	26	26	24	24	25	27	306
利用延数	212	220	227	219	221	247	218	222	245	233	230	252	2746
平均利用/日	8.5	8.1	8.7	8.4	9.2	9.5	8.4	8.5	10.2	9.7	9.2	9.3	8.9

※児童発達支援は、年間利用延べ数 67 人のご利用（全体の 2.4%）

実施状況

- ・年間平均利用率は 89.7%ほど。今年度は新型コロナウイルスによる休所がなかったこともあり利用数は増加した。一方児童発達支援については前年度の利用者 1 名が小学校に進学し、放課後等デイサービスに移行したため総数としては減少した。
- ・新型コロナウイルスの 5 類移行後も事業所として感染防止対策を徹底しているが、体調不良による急遽のキャンセルも多く発生した。一方で追加利用の依頼も一定数あり、出来るだけお受けするように努めた。
- ・前年度末に卒業生はなく、利用者に大きな入れ代わりもなく新年度を開始した。年度途中で 2 名の方(小学生と中学生)の契約があり契約数が増えた。
- ・多様な障害特性の方を受け入れており、当日の利用人数や児童の障害特性などを考慮して毎日の活動プログラムを計画してきた。年齢幅や障害特性の違いの中で、お互いに関係を作っていくこと、お友達・仲間づくりが出来るように努めた。その中でコロナ等感染対策にも気を配りつつ（外出先の配慮、室内活動の工夫）、日々の活動が充実したものになるように工夫した。また、季節を感じてもらえるような制作活動と共に、夏にはプールや流しそうめん、スイカ割、冬にはクリスマスケーキ作り等、イベント活動も取り入れ実施した。
- ・特に重度の利用者を対象とする「個別サポート加算」対象者が多く在籍しており（全体の 7 割超）、職員加配加算を取得し、利用者の特性を考慮した職員配置を行っている。
- ・児童発達支援管理責任者の主導の下、個別支援計画作成と、その計画をもとに充実した支援がおこなえるように記録や確認事項など改善した。個別支援検討会議を年 2 回おこない共通認識を図り支援に努めた。
- ・連絡ノートや送迎時の引継ぎ、個別面談等により保護者とのコミュニケーションに出来る限り努めた。尚、個別面談は、来所または電話面談として年 2 回実施した。
- ・医療的ケア児の利用はなく、今後の見通しとしても専門性の高い他の事業所の利用が考えられる。受け入れの希望があった際に受け入れられるか検討していく。
- ・送迎サービスのニーズは高く、川島町という地域の特性上、送迎方面が多岐にわたっている。そのため効率的で安全な送迎体制に努めた。

3. サービス向上のための取組

職員研修

○外部研修

サービス管理責任者等基礎研修・サービス管理責任者等更新研修

○内部研修

権利擁護、虐待防止・個人情報保護・感染症対策研修・法人新任研修

法人全体研修（年2回/意思決定支援）

危機管理対策

ヒヤリハットについては、随時啓発している。提出された内容は職員会議や回覧で全職員が共有している。引きつづき傾向を分析して事故の予防に努めていく。

○ヒヤリはっと 48 件（前年度 70 件）

内容：転倒つまずき等ケガやそのリスクにつながる（22）

返却忘れ・置き忘れ・間違い(13)、スタッフの見落とし・不注意・連携ミス(11)

破損(2)

○事故報告 8 件（前年度 8 件）

内容：車両事故・物損（4）・異食誤飲(2)・物品の破損(1)・所在不明(1)

○苦情報告

報告件数： 0 件（前年度 1 件）

○防災関係

・消防避難訓練（年2回）、洪水時避難確保計画に伴う訓練

・定期点検：自主点検（毎日）、業者設備点検（年2回）

○保健衛生管理

職員健康診断、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）

保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

○車両運行管理

配車、日常点検、法令点検、車検の実施、車両内外清掃 他

その他

○「放課後等デイサービスガイドライン」及び「児童発達支援ガイドライン」に基づく自己評価を実施し、その結果については法人ホームページに公開した。

○にこぬくだよりを月1回発行している。

○保育士の実習生（2週間）2名の受け入れをおこなった。

【ぬくぬく】短期入所事業

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○食事・入浴・睡眠等、各生活の場面において、各利用者のニーズを踏まえた上で、年齢や障害に応じて、場面に応じた適切かつ丁寧な支援をおこなう。 ○緊急時対応については、優先的に調整して全て受け入れるように努める。 ○重度の方が多く利用している点をも踏まえて、利用者の人権に対する取り組みを継続しておこない、スタッフの意識をより一層高める。 ○感染症対策を万全におこない、安心してご利用いただく。
----------	--

1. 職員体制（令和6年3月31日現在）

管理者1名・生活支援員7名・清掃員1名・事務員1名 計10名（うち常勤4名）

※常勤はにこにこ兼務

2. サービス提供実績

契約者 68件（令和5年4月1日～令和6年3月31日）／定員4名

契約者状況

性別	女性22名	男性46名	計 68名
----	-------	-------	-------

市町村	川島	川越	吉見	上尾	桶川	東松山	北本	坂戸	鶴ヶ島	計
	44	7	4	5	3	1	2	1	1	68

区分	1	2	3	4	5	6	児童1	児童2	児童3	計
	0	1	4	8	13	32	1	1	8	68

利用実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	15	17	17	16	18	19	19	22	21	25	362
利用者延数	227	232	122	140	131	127	147	148	148	146	166	190	1924
空き枠 (キャンセル数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

※6月以降は、職員の退職により体制が整わないため休所日を設けている。

なお、「空き枠」は休所日分を除いた数である。

実施状況

- ・前年度末の複数の退職者に加え、病気休職に入った職員もいたため、6月より休所日を設けながらのサービス提供となった。6月当初は5割程度の開所とし、少しずつ増やしながら年度末では7割程度の開所日で実施している。利用数は前年度より減少した。
- ・利用枠の空き状況に応じて、必要な方への声掛けをおこない利用して頂いた。
- ・緊急利用は1件。ご家族の入院に伴い、急遽の対応が必要となったためのご希望であった。優先して調整しご利用いただいた。
- ・新規契約者は3件。契約終了者は2件であった（利用者逝去に伴い契約終了）。
- ・利用者が安心、快適に過ごせるように、保護者や各関係機関と連携した。またその内容については、業務日誌や引継ぎ簿の活用により、職員間での共有に努めた。
- ・「重度障害者支援加算」対象者が多く在籍している点を踏まえて、重度障害者に対する研修修了者をできるだけ配置し、対応を共有してより適切な支援を行うように努めた。
- ・利用者の様子の引継ぎについては、特に利用者の健康状態、身体の傷の確認等を関係事業所とおこなうようしている。
- ・深夜帯はひとりでの支援となることも踏まえて、職員に対する人権意識の取り組みは、会議等の場を通じて随時啓発に努めている。

3. サービス向上のための取組

職員研修

*にここに参照

危機管理対策

・薬に関する報告が目立った。概要については職員会議で共有して、対応を強化した。

○ヒヤリはっと 16件（前年度18件）

内容：荷物や記録等の返却忘れ、入れ間違い(8)・傷(2)・てんかん発作(1)・異食(1)・連絡ミス(1)・他

○事故報告 5件（前年度13件）

内容：服薬間違い・忘れ(2)・備品破損(2)・行方不明(1)

※必要に応じて、埼玉県に報告をおこなった。

○苦情報告 0件（前年度0件）

*防災訓練、保健衛生管理、車両運行管理については、にここに参照